

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2002-253643 (P2002-253643A)

【公開日】平成 14 年 9 月 10 日 (2002.9.10)

【出願番号】特願 2001-352404 (P2001-352404)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 L 2/10

A 6 1 L 2/08

A 6 1 L 2/20

A 6 1 L 2/22

B 6 5 B 55/08

B 6 5 B 55/10

【F I】

A 6 1 L 2/10

A 6 1 L 2/08

A 6 1 L 2/20 J

A 6 1 L 2/20 Z

A 6 1 L 2/22

B 6 5 B 55/08 A

B 6 5 B 55/08 B

B 6 5 B 55/10 A

B 6 5 B 55/10 C

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 15 日 (2004.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

各装置 2 は、水で冷却されるエキシマー UV - C ランプを包含する。このランプは、ロッド 6 の形の細長い支持部材を包含する。ロッド 6 の内方端はスパイダのハブに固定され、またロッド 6 の外方端は選択的にこの部分に固定されるマンドレルキップ 8 を有することができる。環状室 12 の内側シリカガラス壁 10 が、ロッド 6 から間隔を置いてロッド 6 を同軸に囲んでいる。環状室 12 は、エキシマーガスで充填されていると共に、その外側が外側シリカガラス壁 14 により限定されている。ランプ用の冷却水（又は冷却空気）は、ロッド 6 の内方端からロッド 6 の外方端へその軸方向孔 16 を通して流れる。そして、冷却水はロッド 6 と内側壁 10 との間の環状空間 18 を通して戻る。また、孔 20 及び 22 がそれぞれロッド 6 を通してその内方端から外方端にまで互いにかつ孔 16 に対して平行に延びている。孔 20 は過酸化水素溶液の導入用であり、また孔 22 は過酸化水素溶液を噴霧するための圧縮空気の導入用である。マンドレルキップ 8 は、孔 16 を空間 18 に接続する導管と、孔 20 及び 22 をノズル 24 に接続する導管とを包含する。ノズル 24 は、装置 2 の外方末端にあり、ロッド 6 と同軸である。このノズル 24 は、ロッド 6 の軸線 A に対して実質的に垂直な過酸化水素溶液の噴霧体 S を上記軸線 A まわりの 360° にわたって放出する。